

## 巻末資料 7 - 2 試験放流の報告

### 1 調査目的

新滝ヶ洞溜池において、魚類の生息の安全性を確認することを目的としてコイの試験放流及び追跡調査を行った。

### 2 調査方法

#### (1) 放流作業

放流魚種は、新滝ヶ洞溜池に生息していた魚を包括する魚種としてコイとし、種類は、岐阜県内におけるコイヘルペスウイルス病の流行に配慮し、安全な養殖の色ゴイとした。なお、鳥等に捕食されないよう、色ゴイの大きさは 30cm 程度とした。

養殖の色ゴイ 57 尾について鱗きり法によるマーキングを行い、溜池に放流した。なお、放流前の 3 尾については、全長、体重等を計測の上、魚体内に含まれるカドミウムの分析を行った。



写真 7-2.1 マーキング（鱗きり法）



写真 7-2.2 放流時の様子

( 2 ) 捕獲調査

釣り及び刺し網により、放流コイの捕獲を行った。捕獲調査は1回(2月) 捕獲数は3尾/回とした。なお、捕獲したコイは、全長、体重等を計測の上、魚体内に含まれるカドミウムの分析を行った。

( 3 ) 目視確認調査

溜池の周囲を任意に踏査し、目視により放流コイの生息状況を確認した。目視確認調査は、放流後の毎週(週1回)実施した。

( 4 ) カドミウム分析

放流前及び捕獲調査で捕獲した個体について、ICP 発光分光分析法によるカドミウム濃度の測定を行った。分析部位は、内臓と肉(可食部)の2箇所とした。

3 実施時期

放流作業、捕獲調査、目視確認調査は、表 7-2.1 に示すとおり実施した。

表 7-2.1 実施時期

調査項目	実施日
放流作業	平成 16 年 10 月 14 日
捕獲調査	平成 17 年 2 月 3 ~ 5 日
目視確認調査	平成 16 年 10 月 24 日、31 日
	平成 16 年 11 月 7 日、14 日、21 日、28 日
	平成 16 年 12 月 5 日、12 日、19 日、26 日
	平成 17 年 1 月 2 日、9 日、16 日、23 日、30 日
	平成 17 年 2 月 6 日、13 日

#### 4 調査結果

##### (1) 計測・分析結果

放流前及び捕獲調査により捕獲した個体の体長等の計測結果及び魚体内のカドミウム分析結果を表 7-2.2 に示す。

魚体内のカドミウム濃度は、いずれの検体についても参考基準値を下回っていた。

表 7-2.2(1) 計測・分析結果（放流前）

検体番号	全長 (cm)	体長 (cm)	体重 (g)	カドミウム濃度(mg/kg)	
				内臓	可食部
1-	25.2	19.7	226	0.33	0.1 未満
1-	25.7	19.8	247	0.20	0.1 未満
1-	26.4	20.8	258	0.25	0.1 未満
<b>平均</b>	<b>25.8</b>	<b>20.1</b>	<b>244</b>	<b>0.26</b>	<b>0.1 未満</b>

【カドミウム濃度に関する参考基準値】

- ・ 食品衛生法に基づく基準：玄米で 1ppm 未満
- ・ 農用地土壌汚染防止法に基づく基準：玄米で 1mg/kg 未満

表 7-2.2(2) 計測・分析結果（捕獲調査）

検体番号	全長 (cm)	体長 (cm)	体重 (g)	カドミウム濃度(mg/kg)	
				内臓	可食部
2-	32.8	26.7	545	0.22	0.1 未満
<b>平均</b>	<b>32.8</b>	<b>26.7</b>	<b>545</b>	<b>0.22</b>	<b>0.1 未満</b>

コイの活動が極端に低下する冬季の捕獲であったため、捕獲数は 1 個体のみであった。

【カドミウム濃度に関する参考基準値】

- ・ 食品衛生法に基づく基準：玄米で 1ppm 未満
- ・ 農用地土壌汚染防止法に基づく基準：玄米で 1mg/kg 未満

(2) 目視確認調査結果

目視確認調査による放流コイの確認状況を表 7-2.3 に示す。

試験放流後、放流コイの死体は確認されていない。11 月下旬までは溜池内に放流コイの姿を確認することができたが、それ以降はコイの活動が極端に低下する時期であることから放流コイの姿を確認することはできていない。

表 7-2.3 目視確認調査結果

回	調査日	天候	放流コイ確認数	
			生息	死体
1	H16.10.24	晴	5	0
2	H16.10.31	曇	2	0
3	H16.11.7	晴	1	0
4	H16.11.14	晴	3	0
5	H16.11.21	晴	4	0
6	H16.11.28	晴	0	0
7	H16.12.5	晴後曇	0	0
8	H16.12.12	曇	0	0
9	H16.12.19	曇	0	0
10	H16.12.26	曇	0	0
11	H17.1.2	晴	0	0
12	H17.1.9	晴時々雪	0	0
13	H17.1.16	曇	0	0
14	H17.1.23	曇	0	0
15	H17.1.30	晴	0	0
16	H17.2.6	晴	0	0
17	H17.2.13	曇	0	0

5 今後の調査計画

試験放流の追跡調査として、以下に示すとおり放流コイの捕獲調査及び魚体のカドミウム分析を実施することで、新滝ヶ洞溜池における魚類の生息の安全性を確認していく。

表 7-2.4 今後の調査計画

調査項目	調査時期	備考
捕獲調査	春季：平成 17 年 4 月	・ 3 尾/1 回 ・ カドミウム分析
	夏季：平成 17 年 7 月	
	秋季：平成 17 年 10 月	